

第64回福島県総合ハンドボール選手権大会

日 時 令和3年12月10日(金)～12日(日)

場 所 本宮市総合体育館

競 技 上 の 注 意

1. 競技規則

本大会は、令和3年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則及び最新の競技規則によって行う。

2. 競技会場

A・Bコート 本宮市総合体育館(2面) 37m×20m

3. 競技時間

①競技時間

競技時間は、前半20分・ハーフタイム10分・後半20分とする。

②延長戦

同点の場合は7MTCとする(5名)。

また、リーグ戦は延長戦を行わず、勝ち点制とする。勝ち2点、引き分け1点、負け0点

③時間表示

加算式の電光公示時計を使用する。

④合図

試合終了の合図・チームタイムアウトはブザーでおこなう。

⑤退場者・時間の表示

退場者・時間の表示は、退場者カードを用いる。

⑥退場者の再入場の取り扱い

入場の判断はチームの責任による。オフィシャルからの指示はしない。

4. 競技用品

①ボール

試合球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球を使用する。

②その他の用品

ゴール、ネット等は(公財)日本ハンドボール協会検定品を用いる。

5. 参加資格等

①参加資格

代表者会議で決定したチーム役員・選手のみが競技に参加できる。

②ベンチ人数

ベンチの人数は役員4名・選手16名以内とする。

③役員カード

責任者は役員表示「A」を、オフィシャルや観客等が確認できる場所につける。他の役員は「B」「C」「D」の役員表示をつける。

④責任者の役割

- ・責任者はゲーム開始前にスコアシートのメンバーを確認してサインをする。
- ・責任者だけがオフィシャルやレフェリーに話すことができる。
- ・責任者は交代地域規定を守るとともにベンチでのチーム全体の秩序を保つ責任がある。

6. トス・登録証・ユニフォームの確認

①トス・ユニフォームの確認

トス・ユニフォームの確認は、各競技日の第1試合は試合開始時間の30分前、第2試合以降は前試合のハーフタイムに審判の立ち会いのもと実施する。代表者はすべてのユニフォームを持参する。

②ユニフォーム決定の取り扱い

コート上で4色となるように確認時に審判の立ち会いのもと決定する。

両チームの希望するユニフォームの色が似かよった場合は、プログラムの番号の大きいチームが譲る。

③登録証の取り扱い

今大会は登録証の提示は求めない。

④ユニフォーム

同じチームのコートプレーヤーは全員同じユニフォームを着用しなければならない。同じように各チームのゴールキーパーとして出場する全てのプレーヤーは相手チームのゴールキーパーと、はっきりと判別できる同色のユニフォームを着用

しなければならない(4-7)。黒が基調または黒と混同する上衣は審判が5色目を着用できる場合のみ認める。

⑤アンダーウェア

ユニフォームの下に着用するサイクリングパンツ・アンダーシャツ等はユニフォームの大部分を占める色と同色でなければならない。競技中に異色のウェアが見えるような場合は審判が着替えさせるか見えないようにする等の処置をする。

7. 交代地域

①規定

交代地域は競技規則により規定される。競技中は登録されたチーム役員・選手以外の立ち入りは禁止される。

②使用禁止事項

- ・競技中、交代地域でのボールの使用は禁止する。収納ケースに入れ、むき出して置くことはできない。
- ・飲料水を使用する場合は、飲み口の細い容器で使用する。フロアを水浸しにしないためにコップの使用を禁止する。

③コーチングゾーン

・コーチングゾーンは、センターラインから3.5m(チームベンチの始端)の位置からベンチの終端までとし、それよりもオフィシャル席に近づいていけないのは(a)チームタイムアウトを請求するとき(チーム役員の中の1人)(b)オフィシャル席と話をする特別な場合(チーム責任者のみ)です。

また、グリーンカードを出すためにオフィシャル席に近づき、タイミングを待つことは許されず、即座に請求しなければなりません。

8. チームタイムアウト

①チームタイムアウトの請求はチーム役員が請求カード(グリーンカード)を、チーム役員がオフィシャル席に手を離して置いた時点で正当なタイミングであれば成立し、吹笛される。

②オフィシャルでは請求カード受け取ることができる。請求カードが落ちたり、オフィシャル席置かれていない場合は、チームタイムアウトは成立しない。また正当なタイミングでない場合は、請求カードは返却される。

9. ボールの滑り止め

両面テープの使用は認めるが松ヤニ類の使用は一切認めない。松ヤニ類を使用した場合は、はっきりと正すまでゲームには参加できない。

10. 2足制の厳守

競技会場内は必ず体育館シューズを着用し、屋外シューズと区別すること。

11. TD・裁定委員会

①TD(テクニカルデレゲート)

本大会はTD(テクニカルデレゲート)を置かない。

②裁定委員会

裁定委員会は、大会委員長・競技委員長・審判長の3名で構成し、裁定しなければならない事項が生じた場合、裁定委員会を開催する。

12. その他

①ホイッスル

審判のホイッスルは、Aコートは玉あり、Bコートは玉なし(Air)とする。

②ハチマキ・サポーター・アイマスク・眼鏡等

選手のハチマキは結び目より先を短くし、長い髪は危険のないように結ぶこと。金属・プラスチック製のピン等は使用できない。プロミスリングは、はずすかテーピングテープ等で覆うこと。

金属が入ったサポーター・コルセット・アイマスク等を使用したい場合は競技開始前までに競技委員長の確認を受けること。(許可の目安として、アイマスクは自分を含め競技者に危険を及ぼさない仕様であること・コルセットは競技時にユニフォームの中に入れること・足首のサポーターは金属の部分をラバー等で覆ってあること)

服装や保護を目的とした装具に関する規定を遵守すること。

③トレーナー

トレーナーは代表者会議で競技委員長に届け出ること。トレーナー席は、交代地域の外側に設置する。

トレーナーは、いかなる理由があっても、交代地域、競技場内に立ち入ることはできない。ただし、審判の判断で許可された場合はこの限りではない。選手は、一時的に交代地域から許可なく離れて治療等を受けることができる。

④血液の処理

競技中における負傷等による出血の処理は、血液をふき取るためのゴム手袋・雑巾等を準備しておき、責任ある役員が行う。また、血液の付着したユニフォームは使用できない。代わりに背番号が替わることになっても現在使用中のほかのユニフォームに着替えることは許可される。